

令和6年 2月 2日

報道機関 各位

## 「生活圏の足を考える」ワークショップを開催

富山大学都市デザイン学部は、特定非営利活動法人 ITS Japan（会長 山本圭司、トヨタ自動車株式会社シニア・フェロー）の地域 ITS グループとのコラボレーション活動として、学部3年生向けの学部共通講義科目「モビリティデザイン（集中講義）」の一環で「生活圏の足を考える」ワークショップを開催します。

つきましては、本件について、取材・報道方よろしくお願いたします。

### 記

#### 「生活圏の足を考える」ワークショップ

- 期 日： 2月 9日（金）13：00～18：00  
場 所： 富山大学総合教育研究棟（工学系）1階 プロジェクト企画スペース  
（〒930-8555 富山市五福 3190）  
概 要： ワークショップは3部構成で開催  
●Part.1 話題提供（行政職員、交通事業者など）  
●Part.2 グループディスカッション  
テーマ：「10年後の富山の“生活圏の足”はどうあるべきか」  
富山の「生活圏の足」をデザインするうえで、維持すべきこととは何か、見直すべきこととは何か、新たに導入すべきことはなにか。を議論  
●Part.3 グループディスカッション結果の参加者共有と議論、まとめ  
参 加 者： 都市デザイン学部3年生・関係教員、富山県・富山市の関係行政職員、静岡市の行政職員、郡山市の交通事業者、ITS Japan 関係者など

講義科目「モビリティデザイン」は、人口減少が加速化している地域における住民の移動手段となるモビリティ全般について、様々な角度から現状を把握・理解しながら、地域共創により地域交通をどのように維持管理・運営すればよいのかを考察し、最先端モビリティの自動運転やシェアリングサービスとそれに関連する技術を理解することで一連のモビリティデザインの知識を習得し、過疎地域の公共交通の在り方を自分事として考えるワークショップを通して、柔軟な発想による課題解決策を探ることを目的としています。

今回開催するワークショップは、3つの学び（過去から学ぶ：各地の成功事例、地域から学ぶ：地方自治体の交通施策や地域生活者の困りごとの把握、有識者から学ぶ：地域をよく知る研究機関・大学と意見交換）を通して、10年後の富山のあるべき将来の地域モビリティについて課題抽出・意見交換・アイデア創出を行うものです。

#### 【本発表資料のお問い合わせ先】

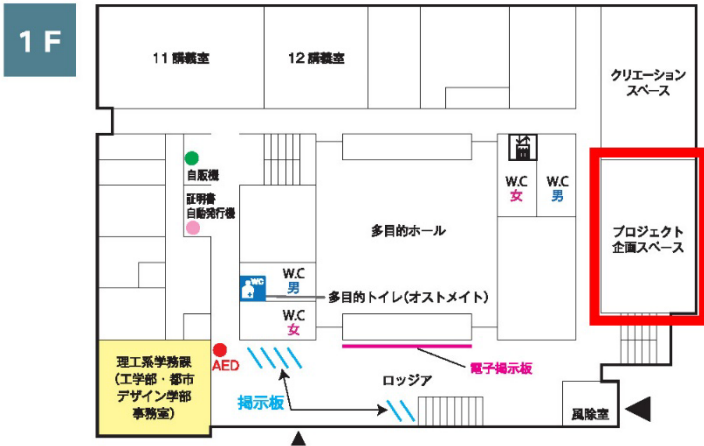
富山大学学術研究部都市デザイン学系 教授 堀田裕弘

TEL：076-445-6758 e-mail：[horita@sus.u-toyama.ac.jp](mailto:horita@sus.u-toyama.ac.jp)



**【会場案内】**  
**「生活圏の足を考える」ワークショップ**  
 2月9日(金) 13:00~18:00  
 富山大学総合教育研究棟(工学系) 1階  
 プロジェクト企画スペース  
 (〒930-8555 富山市五福 3190)

■ 総合教育研究棟(工学系)  
 ※工学部・都市デザイン学部



総合教育研究棟(工学系)